

消防吏員用制服

【NK－2201】

下田地区消防組合

# 消防吏員用冬制服仕様書

## 【上 衣】

### 1. 型 式 [EM755000]

ダブル式衿（飾り穴付き）6個釦・3つ掛け。胸ポケット付き。雨蓋付腰ポケット。  
階級章用台付き。袖口縞縁付き（金銀線）。背抜き裏仕立。

### 2. 材 料

| 区分     | 品番      | 品質                         | 摘要           |
|--------|---------|----------------------------|--------------|
| 表 地    | NK-2201 | 日本毛織サージ毛 100%<br>36/2×36/2 | 表地、衿ポケット、身返し |
| 袖 裏    |         | レーヨン 100%                  | 袖裏           |
| 袋 地    |         | 4号スレーキ（綿 100%）             | ポケット袋        |
| カラークロス |         | ウール混                       | 主衿裏側         |
| 釦      |         | 裏面落し穴付、厚み約 6 mm            | 前身頃 6 個      |
| 袖 口 芯  |         | 綿（接着芯）                     | 袖口           |
| テ ー プ  |         | 綿平織りテープ                    | 前身頃端、返しの衿縁   |
| 片 布    |         | 指定片布                       |              |
| 衿 吊    |         | 指定の衿吊（ニッケ）                 |              |

### 3. 縫製条件

#### （1）縫製

糸調子は、上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にする事。

#### （2）裁断

型入れは布目を正しく通し、全体を同一の反でとり、番号又は記号を付けるなど充分に留意すること。

#### （3）仕立て

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立てとすること。

#### （4）仕上げ

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

#### 4. 縫 製

- (1) 主衿  
地衿に芯を添え、ルイスミシン刺し。表衿縫代は地衿にシツケ止めし、表衿は、見返し部分に付け合わせとすること。
- (2) 衿吊り  
衿中央に縫付ける。
- (3) 胸ポケット  
上前に隠しポケット芯入り、口幅 11.5cm (標準) 深さ 14cm とすること。
- (4) 腰ポケット  
左右雨蓋付。
- (5) 返し止め縫い  
上方から内ポケット側まで星飾りを入れること。
- (6) ダーツ  
胸 1 本、裏も同様。ただし表ダーツは、縫い割り、裏ダーツは片倒しとする。
- (7) 見返し  
衿付けから裾まで継目無しとすること。
- (8) 背縫い  
背抜きにつき、脇断ち目はカラゲミシンで始末すること。
- (9) 肩縫い  
表地割り縫いとすること。
- (10) 袖口  
袖芯 (接着芯) 幅 11cm の位置に縞縁を縫着する。また、階級に応じて金線又は、銀線を縫着すること。
- (11) 階級章取り付け用面ファスナー  
階級章取り付け用面ファスナーを下前身頃の指定の位置に付けること。
- (12) 片布  
下前内ポケット口下に付けること。
- (13) 織ネーム  
メーカー標示マークを、下前内ポケット口上に縫着すること。

## 【ズボン】

### 1. 型 式 [EM755040]

長ズボン、腰ベルト（3.5cm）付、ワンタックとする。アジャスター機能付。  
天狗付きファスナー式。左右後ろポケット片玉縁蓋無し、左側のみ釦止め。  
斜めポケット式。

### 2. 材 料

| 区 分   | 品 番    | 品 質                        | 摘 要           |
|-------|--------|----------------------------|---------------|
| 表 地   | NK2201 | 日本毛織サージ毛 100%<br>36/2×36/2 | 表地、ループ等       |
| 腰 裏   |        | 腰裏芯入り（滑り止め付）               | 腰裏            |
| 袋 地   |        | ポリエステル 65%、レーヨン 35%        | ポケット袋         |
| ファスナー |        | YKK ミトラ（黒）                 | 前立            |
| 釦     |        | （黒）                        | 後ろポケット<br>前立部 |

### 3. 縫製条件

#### （1）縫製

糸調子は上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にすること。

#### （2）裁断

型入れは布目を通し、前身後身頃は同じロット生地を使用すること。

#### （3）仕立て

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立てとする。

#### （4）仕上

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

### 4. 縫 製

#### （1）腰ベルト

縦地使用で指定芯入りとすること。

#### （2）前タック

左右各 1 本を外向きに付ける。

#### （3）時計ポケット

斜めポケット右内側袋向当に張り付けること。

#### （4）脇ポケット

左右に各 1 個とする。

#### （5）後ポケット

左右各 1 個、片玉縁、雨蓋無し。左ポケットのみ釦止めとする。

(6) 後ダーツ

2本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト 100cm 以上 1 本可。

(7) 相引き・内股・しりぐり

裁ち目はオーバーロック。しりぐり、内股は、ミシン 2 回縫いとすること。

しりぐりは、糸切れを防ぐ為に伸ばして地縫いすること。

(8) 天狗・前立て

裁ち目はオーバーロック。天狗先は、釦止めとすること。

(9) バンド通し

7 本。上端より 0.5 cm 下がり、幅 8 mm、長さ（有効長）4.5cm とする。

(10) 腰裏

指定腰裏とし、表地と無理の無いように注意して所定位置に付けること。

(11) シック

棒シック長さ 10cm（標準）を付ける。

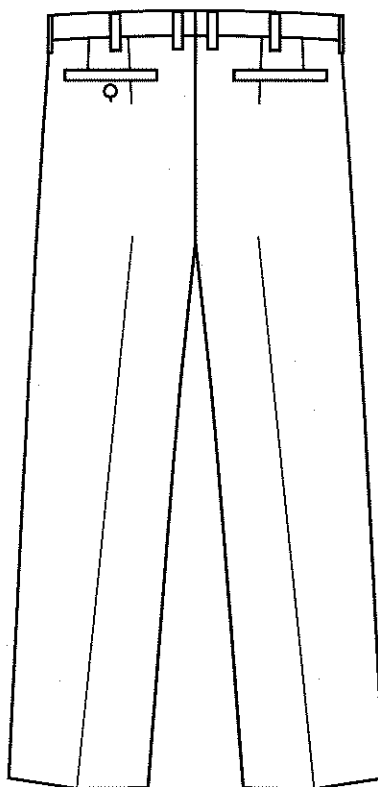
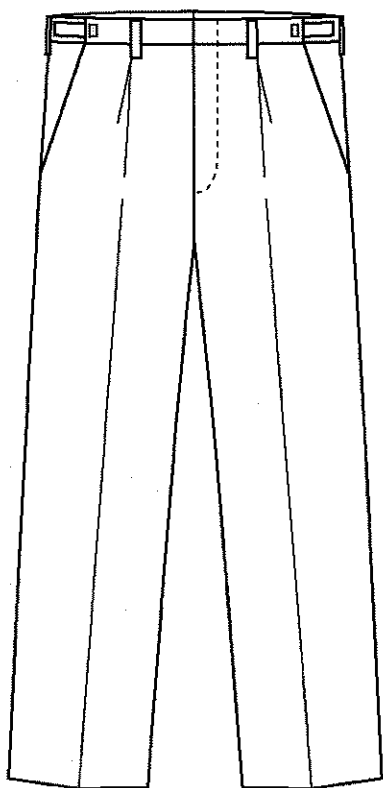
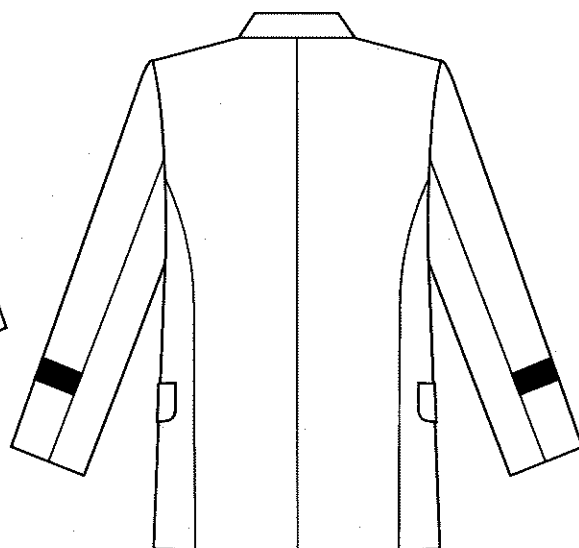
(12) 裾

幅標準、23~24.5cm とする。

(13) 靴ずれ

表地反物の耳を利用。幅約 2cm、長さ 15cm 程度とする。

<概要図>



# 制服（夏）仕様書

下田地区消防組合

## 仕 様 書

- 1 品 名 夏制服
- 2 規 格 別紙仕様書のとおり
- 3 数 量 上 衣 (長袖) 枚  
" (半袖) 枚  
ズボン 本
- 4 納入期限 令和 年 月 日
- 5 納入場所 下田地区消防組合消防本部
- 6 証明書 入札参加者は原反生産者の発行する原反引受証明書を入札の際に提出する事。尚、落札者は、契約締結の際に原反出荷済証明書を提出しなければならない。
- 7 サイズ 落札業者の用意するサイズ取り用のゲージ服を使用し、各個人を採寸すること。

# 下田地区消防組合消防吏員用夏制服仕様書

## 第1 総則

### 1 目的

この仕様書は、下田地区消防組合消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防吏員用の夏制服について、必要な事項を定めることを目的とする。

### 2 概要

夏制服は、消防吏員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

### 3 夏制服の条件

この夏制服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

### 4 その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

## 第2 仕様

### 1 使用材料

#### (1) 生地一般

ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ 織上がりは均正で、織りキズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

#### (2) 表生地

##### ア 上衣

日本毛織（株）EWR45L（当本部指定色）

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 混紡率 | 毛 | 30.0% |
|-----|---|-------|

|  |          |       |
|--|----------|-------|
|  | 再生ポリエステル | 59.5% |
|--|----------|-------|

|  |   |       |
|--|---|-------|
|  | 麻 | 10.0% |
|--|---|-------|

|  |       |      |
|--|-------|------|
|  | 制電性繊維 | 0.5% |
|--|-------|------|

##### イ ズボン及び上衣台衿裏

日本毛織（株）EWR57L（当本部指定色）

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 混紡率 | 毛 | 30.0% |
|-----|---|-------|

|  |          |       |
|--|----------|-------|
|  | 再生ポリエステル | 59.5% |
|--|----------|-------|

|  |   |       |
|--|---|-------|
|  | 麻 | 10.0% |
|--|---|-------|

|  |       |      |
|--|-------|------|
|  | 制電性繊維 | 0.5% |
|--|-------|------|

#### (3) 袋地

ポリエステル100%又は、ポリエステル・綿混紡とする。

#### (4) 芯地・マーベルト

芯地及びマーベルトは本部の承認を得たものとする。

## (5) その他

### ア ボタン

尿素樹脂ボタンを上衣の前合わせ、胸ポケット雨蓋、剣ボロ、カフス、肩章、ズボンの尻ポケット、鼻天狗止めに使用する。

### イ ファスナー・座金前かん

ズボンの天狗及び前立てに使用する。

### ウ 縫糸

本縫い、飾り縫い、穴かがり縫いは、表生地と同系色でポリエステル 100%の 50 番または 60 番とする。

## 2 形状

### (1) 上衣

上衣は、肩章付きのワイシャツ型とし、前立てボタンは6つ掛け、長袖カフス付き（または半袖）、左右胸ポケット雨蓋付きとする。

### (2) ズボン

ズボンは、長ズボン、腰帯付きツータック、裾シングル、両脇・尻ポケット付き、腰廻り伸縮（拡張）式とする。

## 3 縫製

### (1) 一般的事項

ア 各部の縫合わせは、優良で縫い代が適当であること。

イ 縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。

ウ 外観は、縫製が優良で、傷、汚れ、縫い曲り等の欠点が目立たないこと。

エ 表面に現れる針数は特に指定する場合を除き、次のとおりとする。

(ア) 本縫いミシン 12 針以上／3cm 間

(イ) 飾り縫いミシン 12 針以上／3cm 間

(ウ) オーバーロック縫いミシン 8 針以上／3cm 間

(エ) インターロック縫いミシン 8 針以上／3cm 間

(オ) 飾り縫い幅は、約 0.5cm とし、特に指定する場合は端飾り縫いとする。

(カ) ボタン穴は、鳩目又は、眠り穴かがりとする。

(キ) アイロン仕上げには、十分注意すること。

(ク) 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯貼りプレス機を使用し、完全に接着すること。

(ケ) 布目は、型紙の指定通りとする。

### (2) 上衣（半袖）

#### ア 衿

(ア) 上衿には芯を入れ、剣先幅約 7cm、後ろ中央幅約 4.5cm とし、周囲を飾り縫いする。

(イ) 台衿で上衿を挟み、端飾り縫いし、身頃に縫着する。

(ウ) 台衿下部に衿つりを縫い付ける。

(エ) 台衿裏側に配色を施す。

イ 袖及びカフス

(ア) 袖は1枚袖とする。

(イ) 長袖は剣ボロ付きのボタン止めとし、カフスには芯を入れ周囲を飾り縫いする。カフス幅は約 6.5 cm、剣ボロの開きは約 14 cm とし、ダブルボタン付きとする。

(ウ) 半袖は三つ折の内巻きとする。

ウ 袖付け縫い

袖付けは、身頃のくりを延ばさないよう注意し、インターロックミシン縫いし、一条の押さえ縫いをする。

エ 脇縫い及び袖縫い

脇縫い及び袖縫いは、通してインターロックミシン縫いとする。

オ 胸ポケット

(ア) 左右前身頃に拌みヒダ付きポケットを各1個端飾り縫いで縫着する。

(イ) ポケット口は、幅約 2cm の3つ折り縫いとし、口両端はコの字かんを入れる。

(ウ) 拌みヒダは内ヒダとし、幅は約 2cm とする。又、ヒダの表側両端は飾り縫いとする。

(エ) 雨蓋（飾りボタン付き）には芯を入れ、周囲は飾り縫いし、マジックテープ止めとする。中央幅は約 6.5cm、左右端幅は約 4.5cm とし、長さは約 14cm とする。左雨蓋の前中心側より約 1.5 cmの所に、幅約 3 cmのペン差し込み口を設ける。

(オ) ポケットの深さは、前中心側で約 14.5cm、脇縫い側で約 15cm とし、口幅は約 13cm とする。

カ 前合わせ

幅約 3.5cm の表前立て付きとし、ボタン6個掛けとする。

キ 肩章

(ア) 肩章幅は約 5cm（袖付け部）で芯入りとし、周囲を飾り縫いし先端にボタン穴をかがりボタン止めとする。

(イ) 肩章付けは、袖付けに挟み、縫い付ける。

ク ヨーク

合わせヨークとし、背ヨーク中央で幅約 7cm とする。又、背ヨークで後ろ身頃を挟み縫いし、表に飾り縫いをする。

ケ 肩縫い

前ヨークで前身頃を挟み、端飾り縫いとする。

コ プリーツ

背身頃中央に、幅約 3.5cm のアウトボックスプリーツを入れる。

サ 階級章及び階級章取付け用マジックテープ

右胸雨蓋中央上部から約 1 cm上に、横約 4 cm、縦約 2.5 cmのB面マジックテープを縫い付け、その上に当本部指定のプリスト TK 色階級章を貼りつける。

シ 裾

裾は、約 0.3cm の三つ巻き縫いとし、馬乗り型とする。

ス 片布

横約 5 cm、縦約 7 cmの当本部指定片布を下前裾に縫い付ける。

### (3) ズボン

#### ア 脇ポケット

- (ア) 斜めポケットを左右両脇に各 1 個付ける。
- (イ) ロ布は、最大で 2cm 以上折り返し、約 0.5 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から最大で 5cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (ウ) ロ布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりをする。
- (エ) 口の下端は門止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫うようにする。

#### イ 尻ポケット

- (ア) 片玉縁作りとし、左右に各 1 個付ける。
- (イ) ポケット周囲は端ミシンを掛け、口の両端は門止めをする。
- (ウ) 向当布は幅 4 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをし、袋地に縫付ける。
- (エ) 左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。
- (オ) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。
- (カ) 上端は、表裏とも必ず 1 cm 以上腰帯にかかるようにする。

#### ウ タック

外向きタックを、左右に各 2 本取る。

#### エ 腰ダーツ

左右腰後部に各 2 本取り、片倒しする。

#### オ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりをする。
- (イ) 天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。
- (ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりをする。
- (エ) 前立て飾りは、幅約 3.5cm とする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てとともに門を入れる。

#### カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーを、2 条縫いで縫い付ける。

#### キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをする。

#### ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫い代は 2 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをする。

(ウ) 棒シックは、またぐりにそって、ミシン縫いする。

#### ケ 腰裏

(ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。

(イ) 後部（尻縫い目）は、縫い割りとする。

(ウ) 左右脇縫い目の箇所で、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。

(エ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通して、門止めをする。

#### コ 腰帯

(ア) 腰は 3.5cm の腰帯付とし、脇縫いの箇所で、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。

(イ) 腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各 2.5cm 以上（ウエスト周りとして 5cm 以上）腰廻りの拡張が出来るようにする。

#### サ バンド通し

(ア) 前身頃タック、脇縫い、尻縫い脇、後身ポケット上の 8 本付けとする。

(イ) ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約 1cm、長さ約 4.5cm とする。

(ウ) 取付け位置は、ズボン上端より約 1 cm 下がりとする。

#### シ 裾

裾は折り返し幅 3 cm 以上のすくい縫いとする。

#### ス 片布

横約 5cm、縦約 7cm の当本部指定片布を左脇ポケット袋地に縫い付ける。

### 第3 補 則

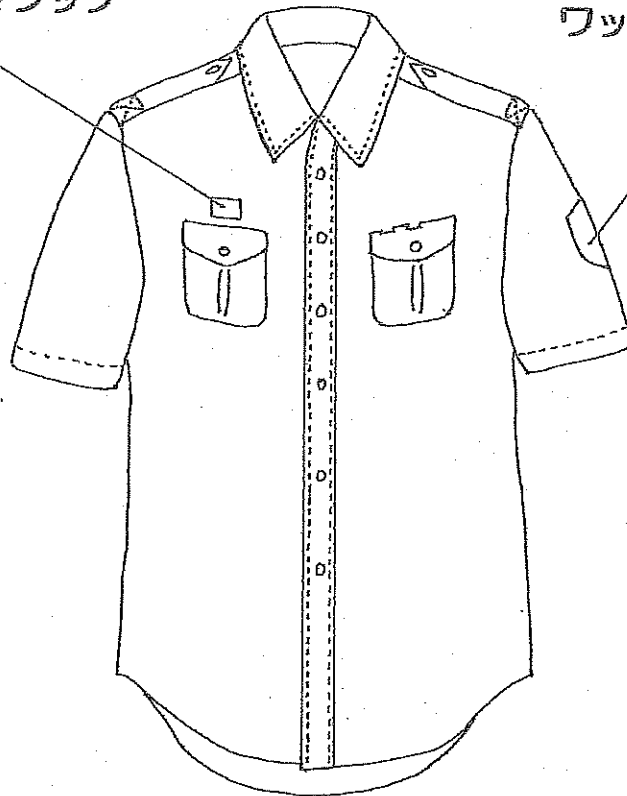
#### 1 梱 包

プレス後、適切な方法で折り、各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組み合わせた状態でビニール袋に収納すること。

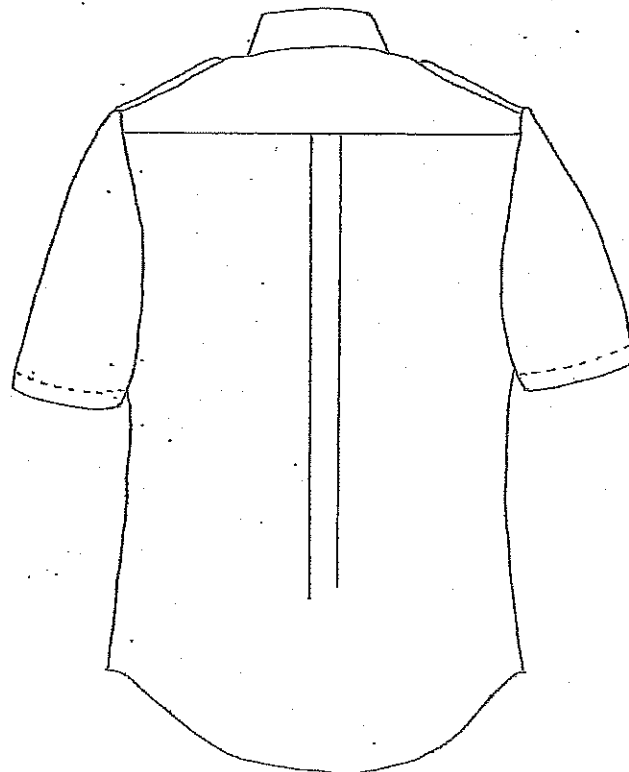
### 上衣（前面）

階級章用台座マジック

ワッペン用台座マジック



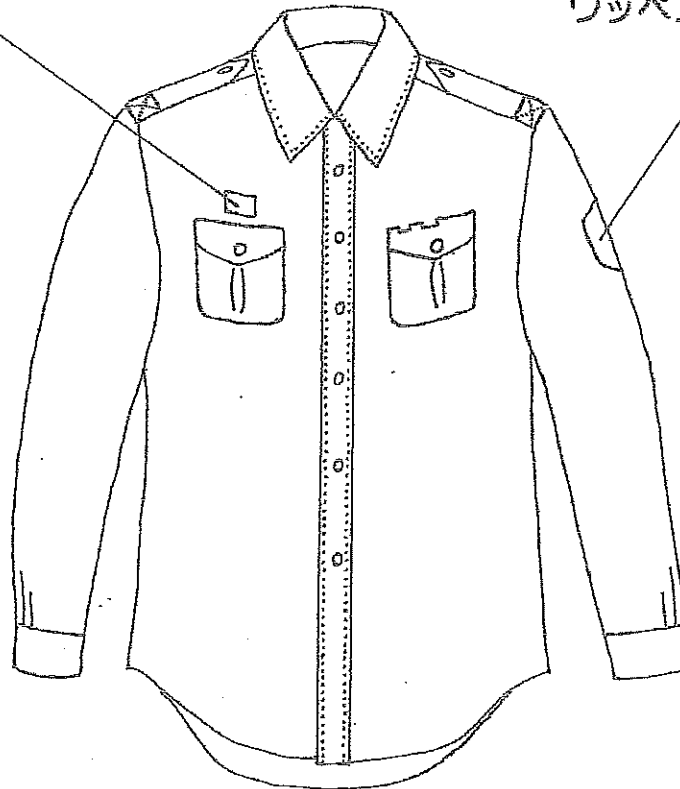
### 上衣（後面）



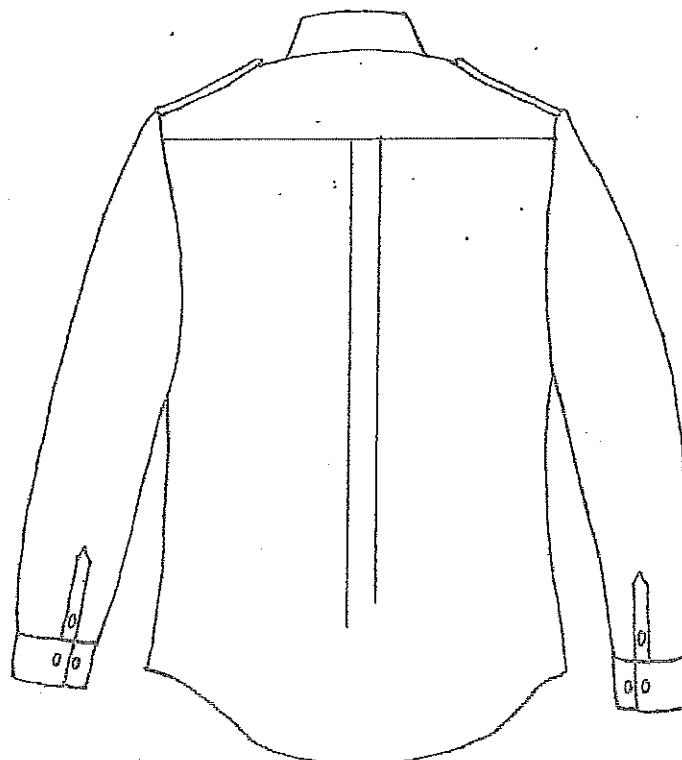
上衣（前面）

階級章用台座マジック

ワッペン用台座マジック



上衣（後面）



消 防 吏 員 活 動 服

仕 様 書

下田地区消防組合

## 第1 総則

### 1 目的

この仕様書は、下田消防本部が購入する冬・夏活動服について必要な事項を定めることを目的とする。

### 2 条件

この活動服は、十分に品質管理を行った材料及び附属品を用いた、仕上がりが優美な製品であること。

### 3 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上における品質管理の適正を図ること。

## 第2 仕様

### 1 材料

#### (1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

#### (2) 表生地：R79435（冬）

#### R79135（夏）

アラミド混紡サージ（帯電防止素材）

アラミド混紡トロ（帯電防止素材）

混紡率（本体部分）：メタ系アラミド 67%

パラ系アラミド 3%

再生ポリエステル 20%

難燃レーヨン 10%

混紡率（配色部分）：同上混紡率・同組織とする事

色相（当本部指定色）：PB5色（本体部分）・オレンジ色（配色部分）

### 2 形状・寸法

- (1) 上衣はシャツ型、台襟付シャツカラー、前ファスナー開き、肩章付き、前後ヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、袖口ファスナー開きとする。配色部分：上襟表側周囲・台襟裏・肩章表・後ヨーク・両胸ポケットヒダ内側。

### 3 縫製

#### (1) 一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。
- イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。
- |        |            |
|--------|------------|
| 地縫い運針数 | 12 針／3 cm間 |
| 飾りステッチ | 12 針／3 cm間 |
- オ 飾りステッチ幅は、約 0.5 cm とコバとする(ダブルステッチの個所は約 0.7 cm とコバ)。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- コ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて全面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

#### (2) 上衣

##### ア 襟

- (ア) 上襟の剣の長さは 8 cm とし、幅は背中心で 4.5 cm とする。
- (イ) 台襟幅は、背中心で 3.5 cm とする。
- (ウ) 台襟で上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- (エ) 台襟下部は 2 条縫いし、下部の 1 条は裏を落とす。
- (オ) 上襟は縦地でとり、上襟の周囲と台襟には約 0.5 cm の飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりをもたせ、折り返りの厚みを引かれぬようにする。
- (キ) 台襟中央に、サテンテープの襟吊りを縫い付ける。
- (ク) 上襟の表側周囲を、1.5 cm 幅の配色地にて切り返す。

##### イ 袖及びカフス

- (ア) 3 枚袖とし、下袖縫い 2 本は身頃脇縫いと通し縫いする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (ウ) 袖口から 17 cm までファスナーを縫い付け、開き止まりからカフス付け根まで、水かき布を付ける。
- (エ) 袖口カフスに芯を入れて、地縫い返しし、1 条の 0.5 cm 飾りミシンステッチをかける。
- (オ) 左袖上腕部の指定位置に、幅 5 cm ・深さ 14 cm (中心にステッチ入り) のペン刺し用ポケットを縫い付ける。
- (カ) 右肩口に当本部指定のワッペン台座をつける。

#### ウ 袖付け

- (ア) 袖付けは、身頃のくりをのばさないようにインターロック又は地縫い片倒しし、0.5 cmのステッチで押さえる。

#### エ 脇縫い

- (ア) 下袖と脇身頃を2本で通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりをする。
- (イ) 脇身頃は2枚とし、脇下から中胴の位置で、通気性を持たせる処理を施すこと。

#### オ 肩縫い

- (ア) 肩縫いは、蓄光反射パイピングテープを挟み縫いし、コバステッチをかける。
- (イ) 上記(ア)より多少後部に、肩章用の相方ボタンを縫い付ける。

#### カ 前身頃

- (ア) 胸部にて切り返し、前ヨークをつける。インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとし、裁ち目は上側に倒し0.5 cmにて1条の飾りミシン縫いをする。

#### キ 胸ポケット

- (ア) ポケット周囲は端縫いをし、下部は小丸とする。
- (イ) ポケット本体に拌みヒダを設け、内側は配色地とする。
- (ウ) ポケットの深さは中心で15 cm、口幅は13 cmを目安とする。
- (エ) ポケット口上部中央に、ループ面（縦2.5 cm×横3 cm・表生地同系色）の面ファスナーを付ける。
- (オ) 雨蓋は芯を入れ五角形の本型とし、胸部の切り返しに挟み込んで取り付け、中央裏にフック面（縦2.5 cm×横3 cm・表生地同系色）の面ファスナーを付ける。また、周囲は地縫い返しし、飾りミシンステッチをかける。
- (カ) 雨蓋の寸法は、幅13.5 cm、高さ中央6.5 cm、両脇4.5 cmを目安とする。
- (キ) 左ポケット雨蓋の身頃中央より2 cmの位置に、口幅2.5 cmのペン刺し口を設ける。

#### ク 前合わせ

- (ア) 前合わせの開閉は、ファスナー式とする。
- (イ) 上前裏は、ファスナーテープを見返しに挟み込み、前端より4 cm奥にて2条ミシンで縫い付ける。
- (ウ) 下前は、ファスナーを身頃と見返しに挟み、地縫い返しし、2条ミシンで縫い付ける。
- (エ) 上前裏にフック面、下前にループ面の面ファスナー（縦4 cm×横2 cm・表生地同系色）を、台襟下に1組、ファスナー中間位置に1組、腹部に1組の計3組を付ける。

#### ケ 後ヨーク

- (ア) 表側のみ配色地のV字型とする。表側下部に蓄光反射パイピングテープを挟み、地縫い返しし、0.5 cmのステッチで押さえる。
- (イ) ヨークの幅は、中央で約 21 cmとする。
- (ウ) ヨークの指定位置に、プリントを入れる。上段「静岡県」(フラット)・下段「下田消防本部」(フラット)とし、字体色等については、当本部指定とする。

#### コ 階級章台座

- (ア) 右胸ポケット雨蓋上端より 1.5 cm上部に、階級章台座面ファスナー(ループ面・表生地同系色)を縫い付ける。寸法は、縦 2.5 cm・横 4 cmとする。

#### サ 見返し

- (ア) 上前側は約 1 cm、下前側は約 2 cmとし、見返し部分を折り返して、裁ち目を表に出さない処理を施すこと。

#### シ 肩章

- (ア) 芯を入れ周囲は地縫い返しし、0.5 cmの飾りステッチをかけ(袖付け部を除く)、先端にボタン穴をかける。
- (イ) 寸法は、根本側、剣先側ともに幅を 5 cmとする。
- (ウ) 剣先は、襟腰よりやや控える。
- (エ) 袖付け部より 5 cm弱のところで、肩章と身頃を縫い止めし、袖付け側はクロスに飾りステッチをかける。
- (オ) 肩章前身側を肩縫い線に合わせる。
- (カ) 表を配色地とし裏を表地とする。

#### ス 裾

- (ア) 平裾とする。
- (イ) 三つ折り、幅 1.5 cm上がりとし、端縫いする。

#### セ 標識

- (ア) 左胸ポケット雨蓋上端より 1.5 cm上部に、面ファスナー(ループ面・表生地同系色)を縫い付ける。寸法は、縦 2 cm・横 4 cmとする。
- (イ) 上記(ア)のサイズの共生地に、下記(ウ)の内容にて指定色で刺繍し、裏に面ファスナー(フック面・表生地同系色)を縫い付け、着脱可能とすること。
- (ウ) 刺繍内容は、「消防名・氏名(名前1文字入れる)」とする。

#### ソ サイズ札・氏名札・品質表示札

- (ア) サイズ札は襟腰下部、氏名札及び品質表示札は下田消防本部指定場所に縫い付ける。

#### 4 ズボン

#### ア 脇ポケット

- (ア) 斜めポケットを左右脇に各1個つける。
- (イ) 左右脇に腰帯下端より約28cm(標準)下部に、縦約20cm横約19cm  
左右後方部と下部に約4cmの風巾とする。
- (イ) 開閉は、両玉縁の革ツマミ付(当本部指定)後閉りファスナーとする。

#### イ しりポケット

- (ア) 両玉縁作りとし、左右に各1個つける。(玉縁作りミシン使用可)
- (イ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。
- (ウ) 向当布は幅3cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。
- (エ) 右側、ファスナー開きとする。
- (オ) 左側、フラップ付とし開閉は面ファスナー式とする。
- (カ) 上端は、表裏とも必ず1cm以上腰帯にかかるようにする。

#### ウ タック

外向きタックを左右に各2本取る。

#### エ 腰ダーツ

左右腰後部に各2本取り、片倒しする。

#### オ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。
- (イ) 天狗の鼻は、先端にボタン穴をかがる。
- (ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。
- (エ) 前立て飾りは、幅3.5cmとする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- (カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前たてとともにかんぬきを入れる。

#### カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーを2条縫いで縫い付ける。

#### キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫い代は2 cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (ウ) 棒シックは、股ぐりにそって、ミシン縫いする。

ケ 腰裏

- (ア) 前立側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部（しり縫い目）は縫い割りする。
- (ウ) 左右脇縫い目の箇所、後ろ身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- (エ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの個所で、表生地に通して、かんぬき止めをする。

コ 腰帯

- (ア) 腰は約3. 5 cm の腰帯付とし、脇縫いの個所で、後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- (イ) 腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い左右各2. 5 cm 以上(ウエスト周りとして5 cm 以上)腰廻りの拡張が出来るようにする。

サ バンド通し

- (ア) 前身頃タック・脇縫い・尻縫い脇・後身ポケット上の8本付けとする。
- (イ) ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約2. 0 cm、長さ約6 cmとする。
- (ウ) 上部は浮かして付ける。
- (エ) バンド通し付けはミシン掛け止めし、両端は本縫い4回以上とする。

シ 裾

裾は折り返し幅約4 cm以上三巻とし、裾紐を入れる。

ス 裾止め

オリジナル裾止めアジャスター式とする。

セ 氏名札及びサイズ札

氏名札は袋地に、サイズ札は当本部にて指示された箇所に縫い付けること。

品質表示

繊維製品品質表示規程に定める方法等により氏名札の下部に印刷して表示する。

### 第3 補則

(ア) 1 梱包と納品

(イ) 1品ごとに上衣、ズボンをビニール袋に収納すること。

(ウ) 2 その他

(エ) 検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められた時には、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。疑問点が生じた時には、必ず担当者と綿密に打合せするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、誠意をもってあたること。

(オ) 出来上がり寸法

上衣 単位 cm

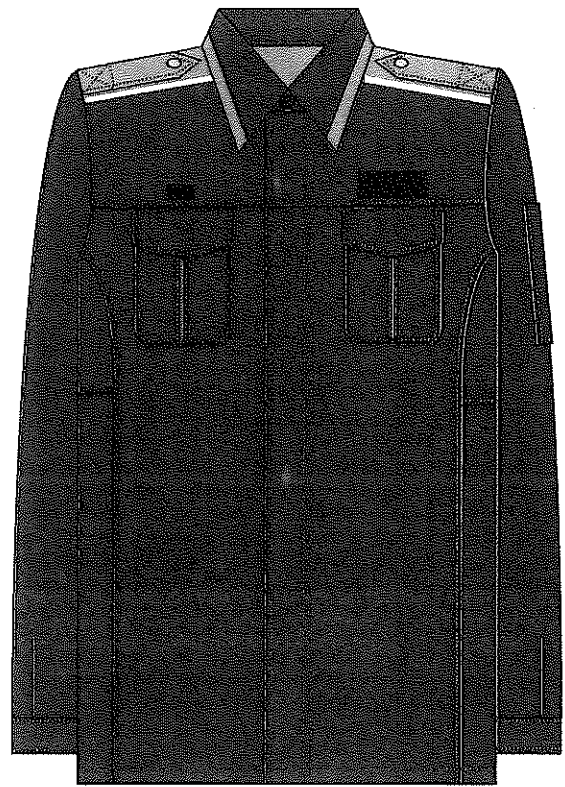
| サイズ表示 | 首廻   | 胸囲           | 肩幅           | 袖丈           | 着丈           |
|-------|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| AS    | 37   | 100          | 44           | 54           | 74           |
| AM    | 39   | 105          | 46           | 56           | 74           |
| AL    | 42   | 110          | 48           | 58           | 78           |
| ALL   | 44   | 115          | 50           | 60           | 78           |
| A3L   | 45   | 120          | 52           | 63           | 80           |
| BS    | 39   | 110          | 47           | 53           | 76           |
| BM    | 41   | 115          | 49           | 55           | 76           |
| BL    | 43   | 120          | 51           | 57           | 78           |
| BLL   | 45   | 125          | 53           | 58           | 78           |
| B3L   | 47   | 130          | 55           | 62           | 80           |
| 許容差   | ±1.0 | +2.0<br>-1.0 | +1.0<br>-1.0 | +1.0<br>-1.0 | +1.5<br>-1.0 |

ズボン 単位 cm

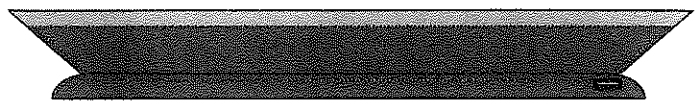
| サイズ表示 | ウエスト | 裾口   | 股下                                         |
|-------|------|------|--------------------------------------------|
| 70    | 70   | 23   | 74cm 上がり<br>を基準に<br>偶数単位で<br>股下の調整<br>をする。 |
| 73    | 73   | 23   |                                            |
| 76    | 76   | 24   |                                            |
| 79    | 79   | 24   |                                            |
| 82    | 82   | 24   |                                            |
| 85    | 85   | 24   |                                            |
| 88    | 88   | 24   |                                            |
| 91    | 91   | 25   |                                            |
| 95    | 95   | 25   |                                            |
| 100   | 100  | 25   |                                            |
| 105   | 105  | 25   |                                            |
| 110   | 110  | 26   |                                            |
| 許容差   | ±1.0 | ±0.5 | ±1.0                                       |



前



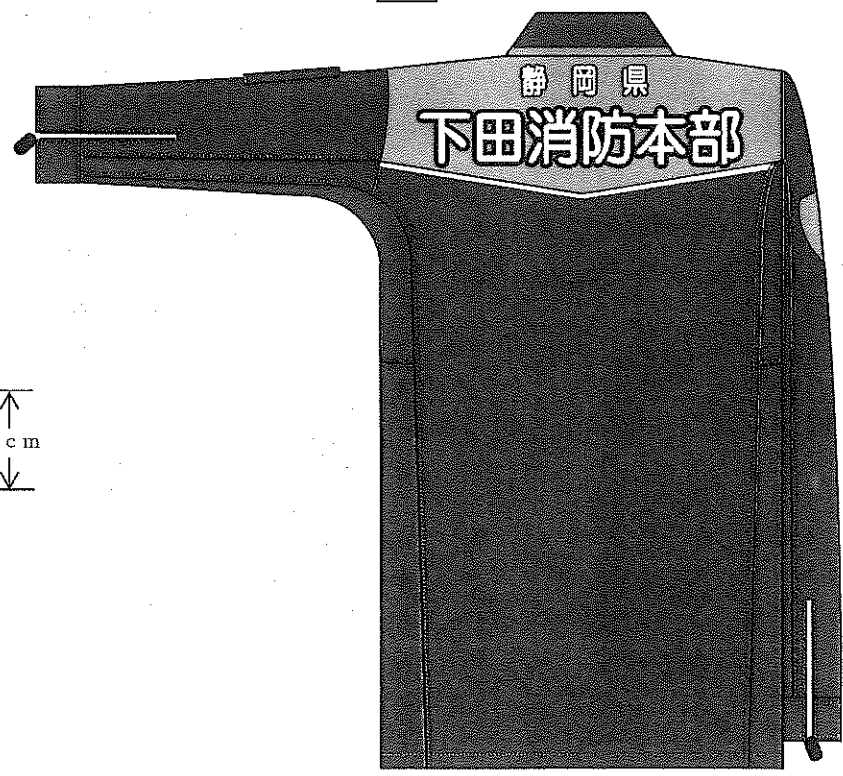
衿表



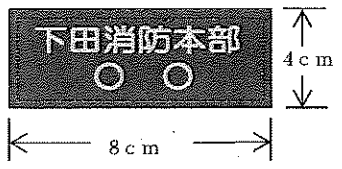
衿裏



後



胸ネーム

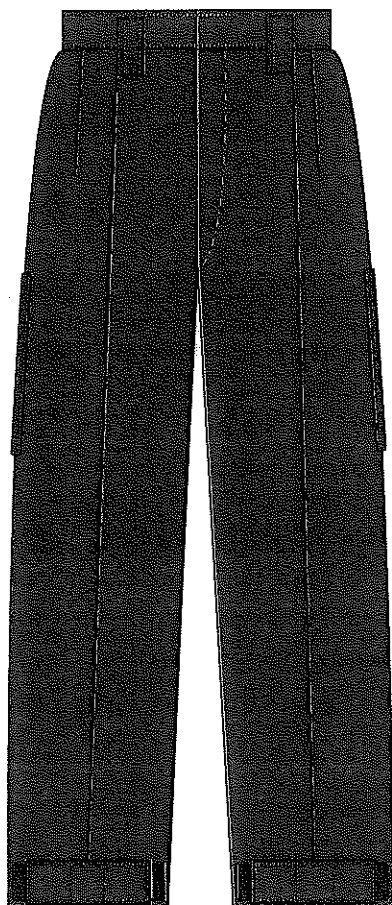


〇〇〇

櫻井 龍

長谷川 正

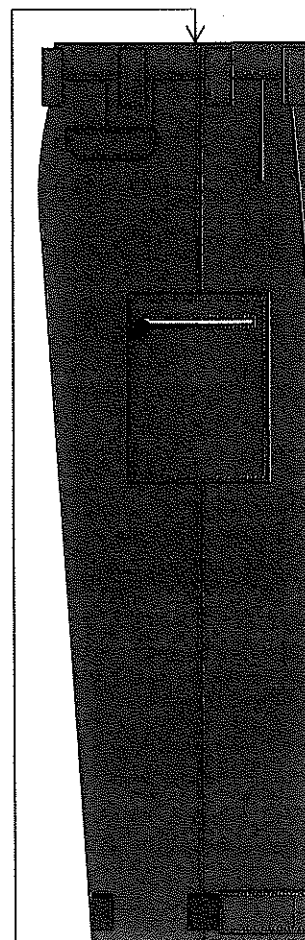
前 面



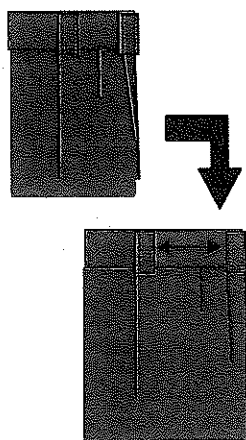
後 面



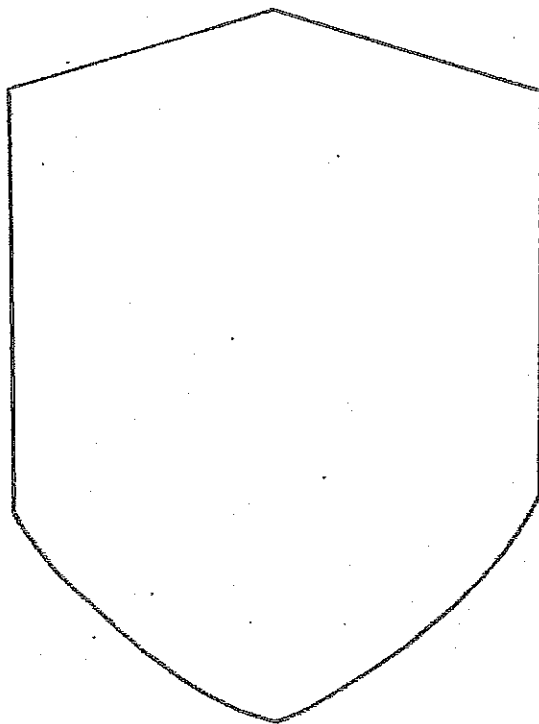
側 面



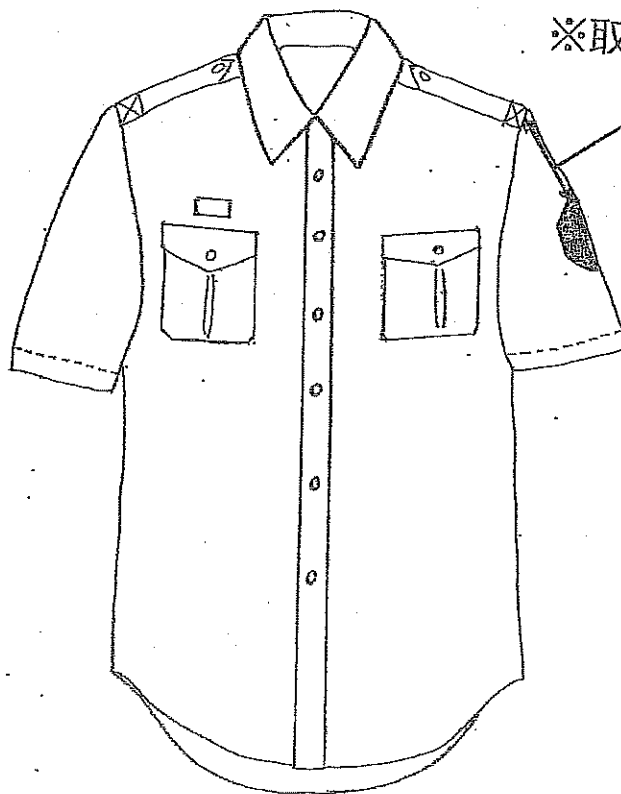
ウエスト伸縮部



ワッペン用台座マジック形状

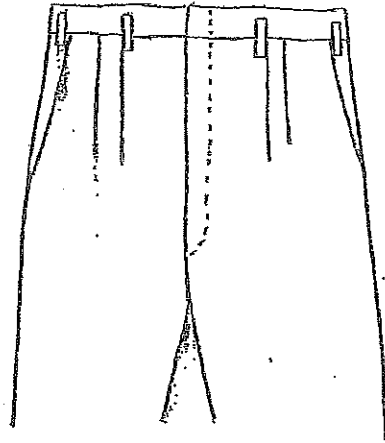


※実物大

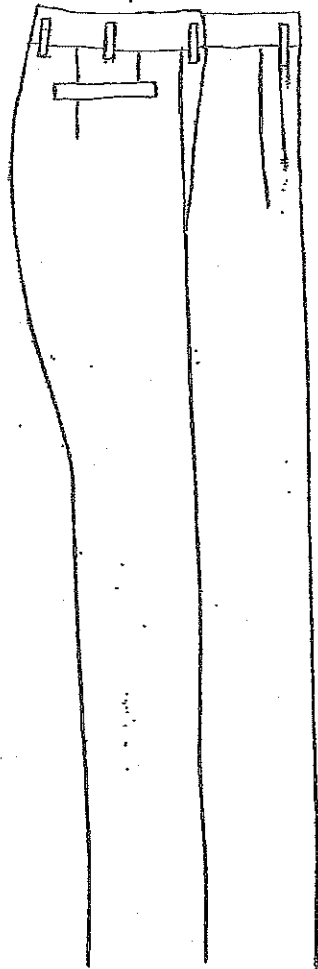


※取付位置 約7cm |

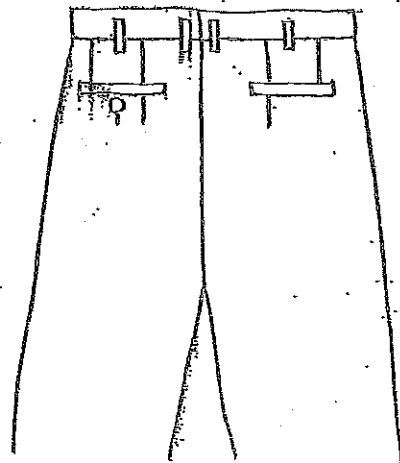
ズボン(前面)



ズボン(側面)



ズボン(後面)



下田消防本部

救助服仕様書

NEO-ATH (A 型)

C X 2 9 4 0

この仕様書は、下田消防本部（以下「当本部」という。）が採用する救助服について規定する。

この救助服は、上衣、ズボンともに特殊立体裁断を用いて縫製されたものであること。表生地は活動上の安全面に配慮し、主素材は難燃性・機械的強度に優れたアラミド繊維を使用すること。

品 名：エミュファイター®救助服 NEO-ATH（A型）CX2940

## 1. 型式

### （1）上衣

- ア 前身頃・後身頃・脇身頃及び、前袖・後袖・下袖・袖山及びヨーク続きからなる長袖型。
- イ 前合わせ：黒革付きファスナー式（衿先まで）。
- ウ 胸ポケット：黒革付きファスナー式切りポケット。
- エ 袖口：黒革付きファスナー式、水かき付、カフス仕立て。
- オ 肩章：肩章付き。
- カ 脇下ベンチレーション式。

### （2）ズボン

- ア 前身頃・後身頃・脇身頃・内股部からなる長ズボン型。
  - イ 脇ポケット：黒革付きファスナー式、マチ付きアウトポケット。
  - ウ 前あわせ：ファスナー式、前カン式。
- ※上衣・ズボンに使用するファスナーはそれぞれロック機能付きとする。

## 2. 表生地

### （1）種類

帝人エクスファイア® サージ  
CX2940（X29158）オレンジ

### （2）混紡率

メタ型アラミド 93%  
パラ型アラミド 7%  
導電性繊維混入

## 3. 条件

### （1）針数

針目数は飾りステッチ、刺し、共に3cm間に10針以上とする。

### （2）縫製糸

メタ型芳香族ポリアミド 40 番オレンジとする。

(3) 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし、縫い始め・縫い終わりは返し針を完全に行うこと。

4. 縫製要領

1. 【上衣】

(1) 衿

ア 衿幅は、中央で約 10 cm・剣先で約 9 cm とし、衿裏には山刺しを施すこと。

イ 衿台として中央で幅約 3.5 cm の衿腰を切り替えしに付け、腰刺しは 5 本以上とする。

ウ 剣先部分まで、前身頃から続けてファスナーを縫い付ける。

(2) 身頃

ア 前中心は、黒革付きファスナーを衿先から前身頃にかけて挟み縫いする。下部には、門止めを施す。

前身頃のファスナー開口部は、左右とも端に芯糸を入れる。

イ 肩章付とし、肩章は幅約 5.5 cm、長さ約 14.5cm、衿側は山型とする。肩章付け根は二つ折りし、クロスステッチをかけ、身頃に縫付け、更に約 3.5cm 衿側へ寄った箇所にダブルステッチにて身頃に縫い止める。肩章先は釦止めとする。

ウ 縦約 2.5 cm・横約 4 cm の階級章取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を右胸ポケット上部から約 1 cm 上に縫い付ける。

エ 裾は、シャツ型とし、三つ折り縫いとする。

オ 前身頃刺子は、表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺し子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

カ 後身頃刺子は、衿付け後ろ中心から約 27 cm 下りを標準（L 寸）とし、表生地を 2 枚重ね、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

キ 左見返しに、縦約 2.5 cm・横約 6.5 cm の警笛ループ及び、縦約 6.5 cm・横約 7 cm のつまみ付き警笛ポケットを縫い付ける。

ク 脇身頃下側布と下袖布を縫い合わせ、脇部下部にベンチレーションを設ける

ケ 身頃・袖ハギ縫い合わせはインターロック後片倒し、一条飾り縫いを施す。

(3) 袖

ア 袖は、4 枚のハギ及びヨークからの続き袖にて構成される構造とし、

肩部分には、表生地を2枚重ね、幅約1.5 cmの刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

- イ 袖口は両玉縁、約17 cmの黒革付ファスナーで開閉するものとし、接着芯を貼ったカフス式（カフス幅約6 cm）とする。  
開き口にはカフス先端から開き止まりまで水かきを付け、ファスナーを表地と水かきに挟み縫いする。水かき端部は約0.5 cmの三つ折り縫いとする。
- ウ 肘部分には、表生地を2枚重ねし、幅約1.5 cmの刺子を入れた当て布を取り付ける。当て布には運動性を良くするためにダーツを設ける。
- エ 左袖に指定のエンブレム用メスマジック台座を刺しより1cm下りに縫い付ける。（サイズは概要図の通り）

#### （4）胸ポケット

- ア 左右前身頃に切りポケットを各1箇所、二条縫いで縫い付ける。
- イ ポケット口は両玉縁、口幅約14 cmとし、黒革付ファスナーを縫い付ける。
- ウ ファスナーは、閉じて脇側とする。
- エ ポケット上側のステッチを5mm下げたものとする。
- オ 左ポケット内に、縦約4 cm・横約5 cmの2本入りペン差し用ループを縫い付ける。

#### （5）片布

- ア 右胸ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示を縫い付ける。
- イ 衿部分にサイズ表示及び衿吊りを縫い付ける。

#### （6）ネーム

- ア 左胸ポケット上部に50 mm幅×長さ84 mmのマジック台を縫い付け、上段に『下田消防本部』、下段に『救助隊』『個人名』をマジック脱着式で指定の大きさ・字体・色にて刺繍する。

#### （7）背文字

- ア 後身頃上部に消防本部指定字体・寸法で上段に『静岡県』、下段に『下田消防本部』と刺繍する。

## 2. 【ズボン】

### （1）身頃

- ア 前身頃3枚ハギ、後身頃2枚ハギ、脇身頃及び内股部各2枚ハギで構成された構造とする。前身頃・後身頃・脇身頃及び内股部の上部及び膝当て部は表生地を2枚重ねし、幅約1.5 cmの刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

イ 脇・尻・内股縫いは、インターロック、片倒し一条飾り縫いを施す。  
前身頃と内股の縫い合わせ部分の一条の飾り縫いは小股から内股  
までの刺し子部分までとする。

(2) 脇ポケット

ア 左右に各 1 個、アウトポケットを縫い付け、風きん部分は一枚裁ち  
とする。

イ ポケット付け位置は中央部で上端から約 29 cm 下がり为标准 (L  
寸)  
とする。

ウ ポケット口は両玉縁とし、口幅約 19 cm、斜め式とする。

エ 黒革付ファスナー開閉式とし、ファスナーは閉じて尻側とする。

(3) 前立て及び棒シック

ア 前合わせは、前カン及びファスナー式とし、ファスナー止まり下  
部には門止めを施す。

イ 棒シックは縦約 13cm・横約 2.5cm のものを取り付ける。

(4) ウエスト・ベルト通し

ア 腰裏にすべり止めマーベルトを縫い付ける。

イ ベルト通しは、縦有効幅約 6 cm・横約 9 cm とする。位置は、後  
中央に 1 本、左右に各 2 本の計 5 本とし、ウエスト上端から約 1 cm  
下げて縫い、下部は二重縫いで身頃に止め、両端に門止めを施す。

(5) 裾口

裾口には絞り紐を入れ、踵止めゴム紐を縫い付ける。

(6) 片布

左脇ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示、サイズ表示を  
縫い付ける。

# 5. 寸法表

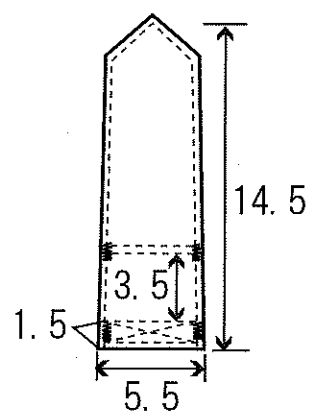
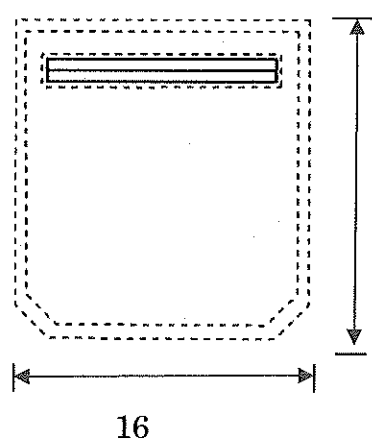
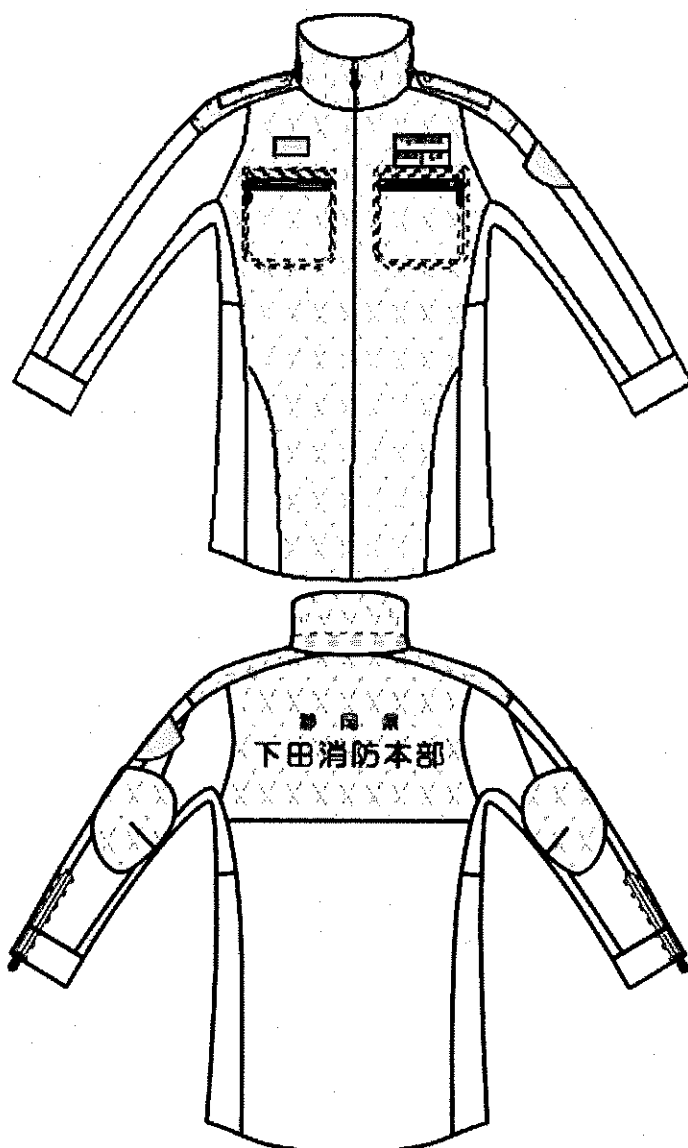
上衣 (単位 : cm)

| サイズ | 着丈 | 胸囲  | 胴囲  | 衿丈 |
|-----|----|-----|-----|----|
| SS  | 73 | 97  | 95  | 77 |
| S   | 73 | 101 | 99  | 79 |
| M   | 75 | 105 | 103 | 81 |
| L   | 77 | 111 | 109 | 84 |
| LL  | 80 | 117 | 115 | 86 |
| 3L  | 81 | 123 | 121 | 89 |
| 4L  | 84 | 129 | 127 | 91 |
| 5L  | 86 | 135 | 133 | 94 |

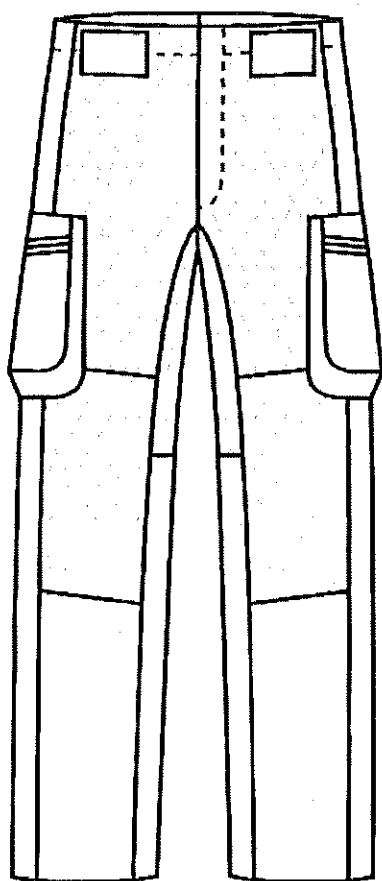
ズボン (単位 : cm)

| サイズ | ウエスト | ヒップ | 渡り幅 |
|-----|------|-----|-----|
| SS  | 71   | 96  | 32  |
| S   | 75   | 100 | 33  |
| M   | 79   | 104 | 34  |
| L   | 83   | 108 | 36  |
| LL  | 87   | 112 | 37  |
| 3L  | 91   | 116 | 38  |
| 4L  | 95   | 120 | 40  |
| 5L  | 99   | 124 | 41  |

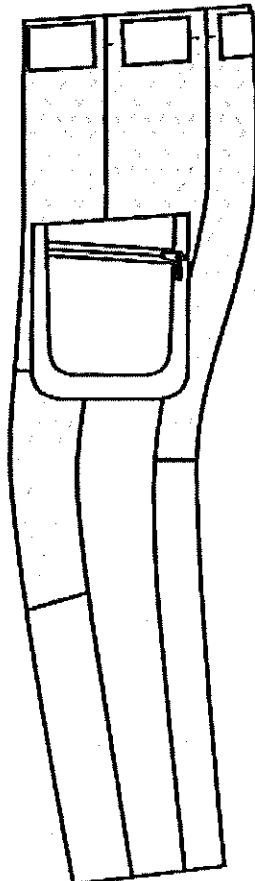
<概要図・上衣>



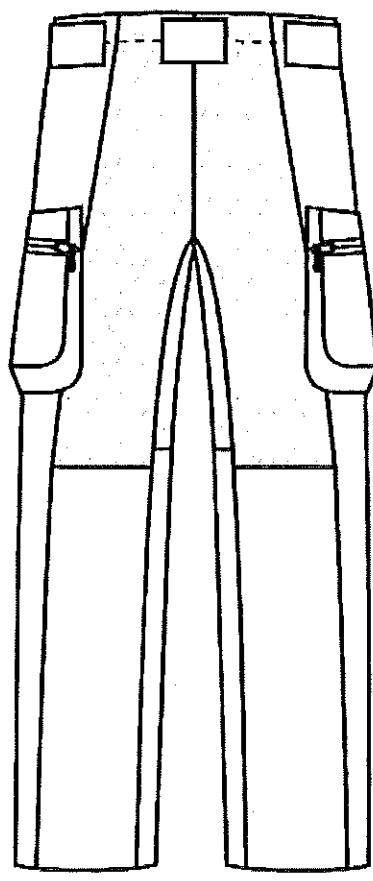
<概要図・ズボン>



(前)

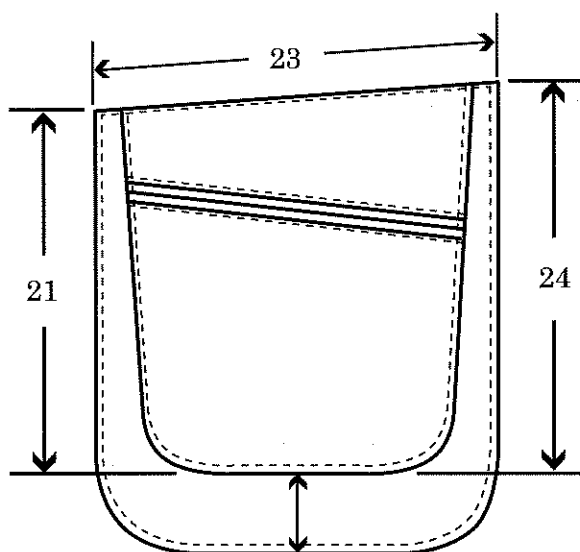


(横)



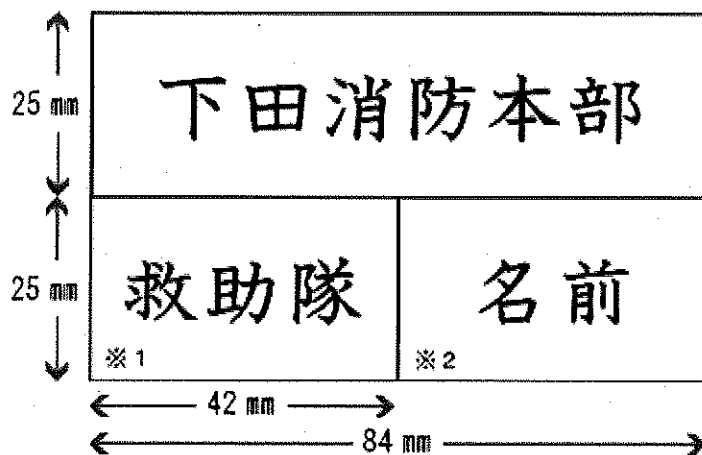
(後)

マチ 5  
(脇ポケット)



<概要図・ネーム>

左胸ネーム



- ・下地布 オレンジ
- ・文字 上記図書体と同等のもの
- ・文字色 紺

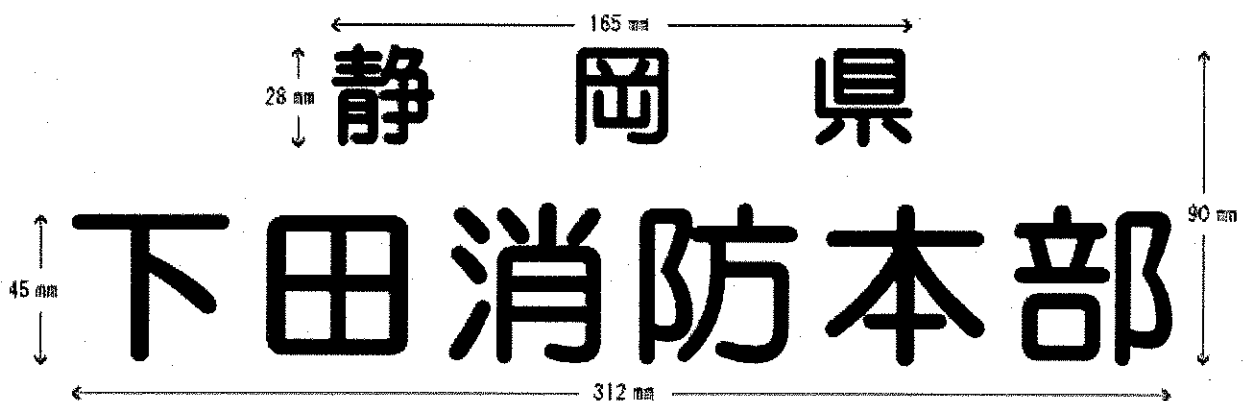
※1 救助隊長

※2 隊員名前

救助副隊長

救助隊

後身頃 消防本部名



- ・下地布 オレンジ
- ・文字 丸ゴシック
- ・文字色 ロイヤルブルー

<概要図・左袖 エンブレム用マジック台座>

